

旭市DX推進計画

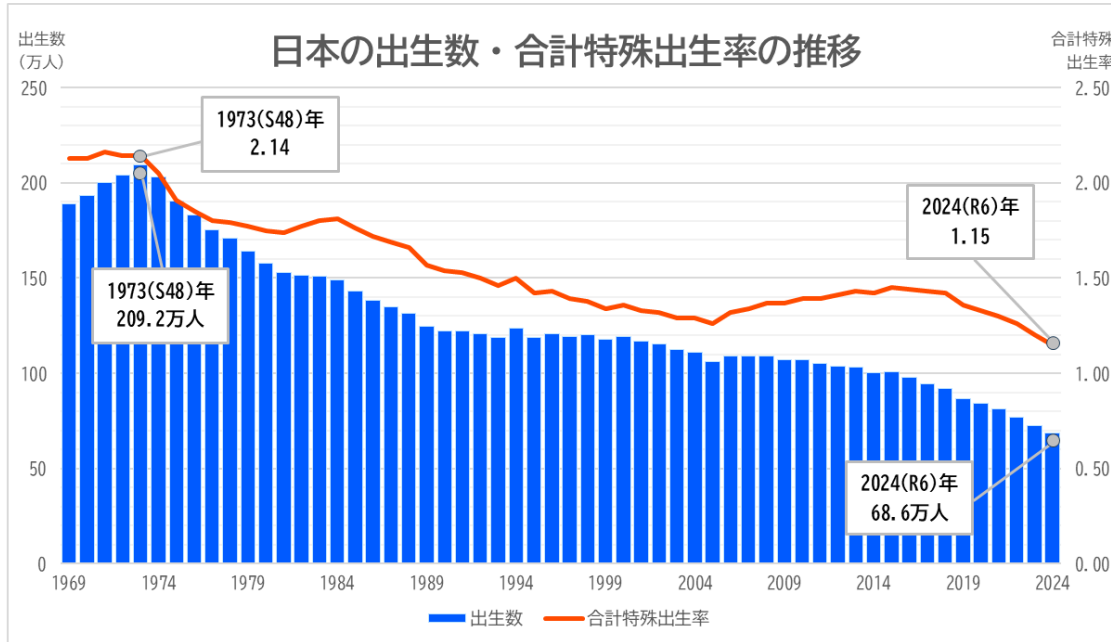
令和8年2月
Ver.1.0

目次

D X推進の背景	1
D Xとは	5
計画の位置付けと期間	7
推進体制	9
目指す理想像(ビジョン)	10
目指す理想像への道のり(アプローチ)	11
主な取組(テーマ)	14
取組内容	15
工程表	21
用語解説	31

D X 推進の背景

深刻な少子化



出生数は50年間で
3分の1に減少

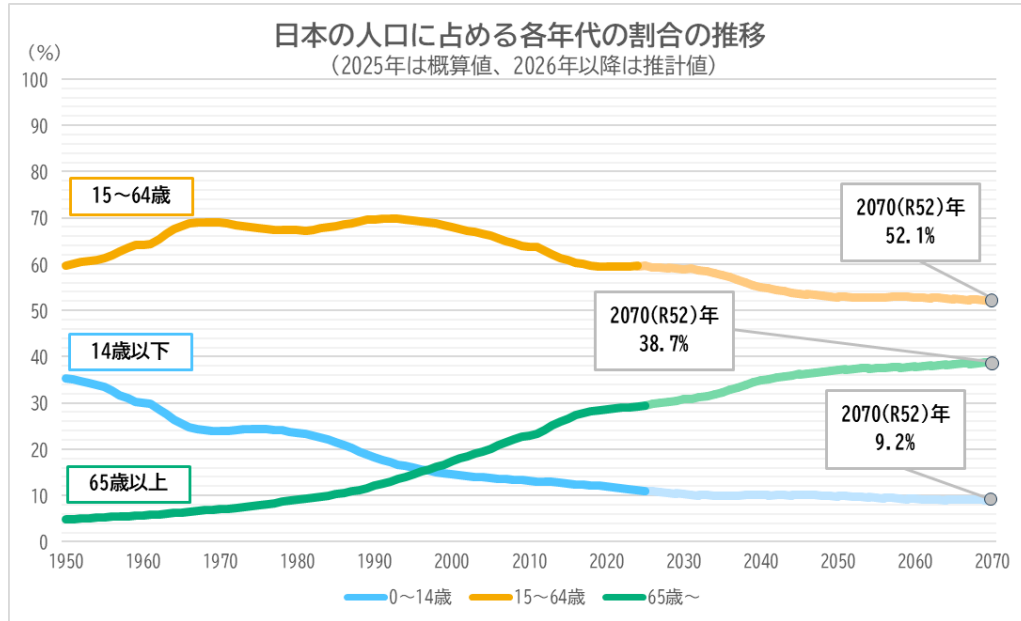
※1973(S48)年 209.2万人
→2024(R6)年 68.6万人

合計特殊出生率も
過去最低を更新

※2024(R6)年 1.15

D X 推進の背景

止まらない高齢化



65歳以上の人口割合は
1950年から一貫して
上昇

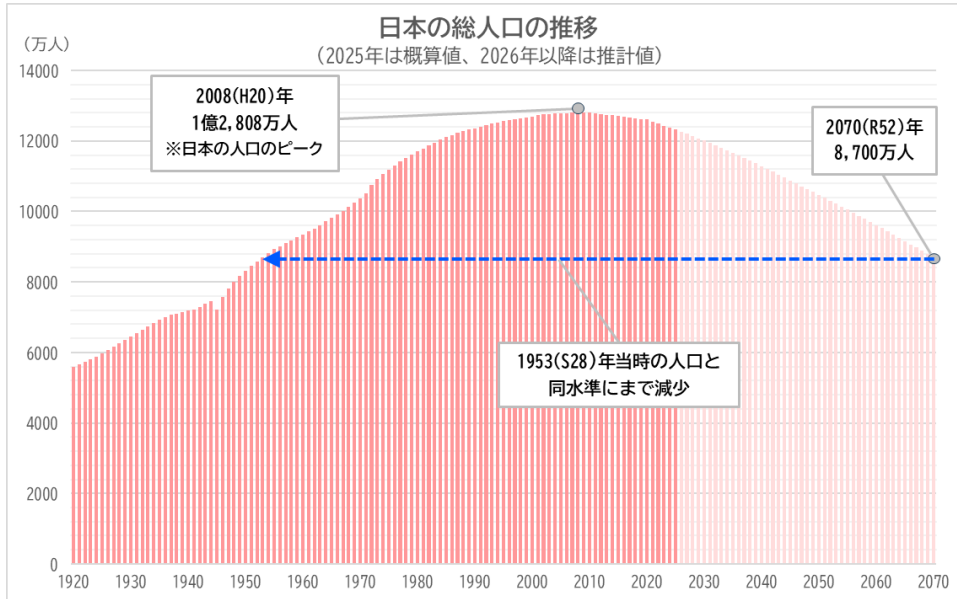


2070年には全体の
4割に到達の見込み

※2070(R52)年 38.7%

D X 推進の背景

急激な人口減少



日本の人口は2008年を
ピークに**減少を開始**



2070年にはピーク時の
3分の2に減少の見込み

※2008(H20)年 1億2,808万人
→2070(R52)年 8,700万人

「人口推計」(総務省統計局)、「日本の将来推計人口 令和5年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)より作成

DX推進の背景

少子高齢化や人口減少という厳しい状況の中でも、自治体としての機能を維持し、持続可能な市民サービスを提供していくためには、**デジタル技術を最大限活用し、行政事務の効率化や地域課題の解決を目指すDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進が必要不可欠**です。

これからも市民が幸せに暮らしていける未来を創るために、旭市がDXに取り組む際の考え方や方策を示すものとして、「旭市DX推進計画」を策定します。

DXとは

DX(デジタル・トランスフォーメーション)とは、

デジタル技術(D)を活用し、

人々の生活をより良いものへ**変革(X)**させること
です。

また、DXでは主観や思い込みに頼らず、**エビデンス(根拠となる客観的なデータ)**に基づいて判断や決定を行います。

※「トランスフォーメーション(Transformation)」は、「T」ではなく「X」で略されるのが一般的です。これは、「Trans-」に「交差する」や「横切る」・「超える」といった意味があることから、英語で同じ意味を持つ「クロス(Cross)」の略である「X」が代わりに使用されているためです。

DXとは

◎旭市DX 3原則：



- ①目指すのはデジタル化ではなく、その先にある**変革**
(デジタル技術はあくまでも手段、大事なものはDよりもXの意識)



- ②従来の取組の徹底的な**見直し**が大前提
(現状を「見える化」し、ゼロベース思考で最適な方法を追求)



- ③できることからとにかく**始める**
(スモールスタートでも着実に実行していけば、大きな改革につながる)

計画の位置付けと期間



各種計画を**下支え**する

分野横断的な取組方針

として位置付け

国の計画・方針

自治体DX推進計画

地方創生2.0基本構想

など



総合戦略

行政改革アクションプラン

旭市DX推進計画

分野別 個別計画

子育て	福祉	産業	防災	など
-----	----	----	----	----

計画の位置付けと期間

国の「自治体DX推進計画」にならい、**計画期間は定めず**、内容の見直しを毎年行いながら計画を適宜更新します。

ただし、具体的な取組については**個別の推進期間を設定し**、DXの実現を目指します。



数十年後の未来を見据えて、中長期的に
継続してDXに取り組む必要があります！

推進体制

組織体制

D X推進本部

本部長……………市長
副本部長……………副市長
本部員……………教育長、各課長等

D Xに係る方針の決定、進捗管理、
評価等

デジタル戦略室

D X推進本部の事務局
市のD X推進を所管

人財活用

D X推進アドバイザー

D Xの全体総括や、各種取組に関する
指導・助言等を行う外部人財

人財育成

職員の育成

D Xエバンジェリスト*(各部署におけるD Xを推進する人財)
D Xチェンジプラクティショナー*(変革を実践・牽引する人財)

みんなに優しいデジタルで みんながつながる あったかいまち旭

デジタル技術は様々なかたちで活用できるため、デジタルが苦手な人であってもDXの恩恵を受けることは可能です。

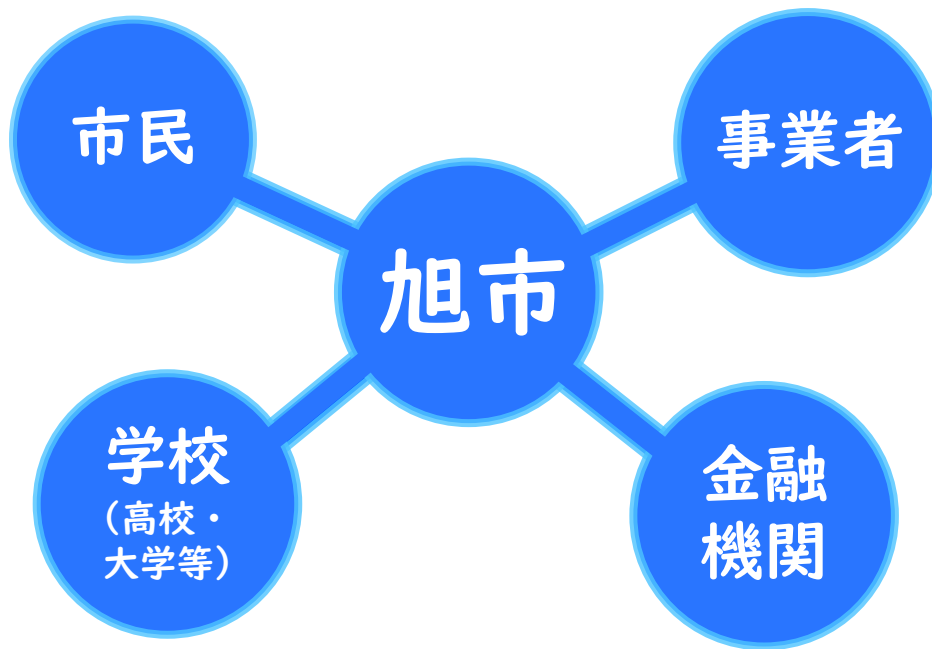
DXを『ひとつごと』から『じぶんごと』、さらには『みんなごと』へと変えていくことにより、チーム旭・オール旭でDXに取り組めます。

全ての人々が幸せに暮らすことができるまちの実現を目指し、旭市はDXを推進します。

目指す理想像への道のり(アプローチ)

【スタート：共想／共創】

市がローカルハブ*としてきっかけを作り、市民や事業者等の様々な主体と連携して、新しいまちづくりを目指します。



目指す理想像への道のり(アプローチ)

【プロセス：3つの視点からのDX】

「DXの恩恵の直接的な受益者は誰か」という観点から、DXを3つのテーマに分けて取り組みます。

1. 市民DX

市民一人ひとりにとって理想的な形でサービスが提供されるように、デジタル技術の最適な活用を推進

2. 産業DX

事業者等のデジタル技術の導入やデジタル人財の育成を積極的に支援し、市の産業を振興

3. 行政DX

多様で複雑化する社会課題に対応するため、徹底的なBPR*とデジタル技術の活用で業務を最適化

目指す理想像への道のり(アプローチ)

【ゴール：旭市の全体最適化*(ウェルビーイング*&SDGs*)】

デジタル技術を最大限活用し、市民にとって旭市での暮らしが幸せと感じられ、持続的に発展していけるまちを実現します。



主な取組(テーマ)

1. 市民DX

- ① 子ども・子育て支援の全体最適化
- ② 窓口改革
- ③ 市民とのコミュニケーションの全体最適化
- ④ 安全・安心・魅力的なまちづくり

2. 産業DX

- ① 農水産業・海業*の維持・発展
- ② 観光・シティプロモーション*の推進
- ③ 産業創出や企業誘致による雇用の拡大・確保

3. 行政DX

- ① DX人財の活用・育成
- ② デジタルツールの活用による業務最適化
- ③ 持続可能な情報システムの整備・運用

取組内容

Ⅰ. 市民DX ① 子ども・子育て支援の全体最適化

旭市の重点施策の一つである子ども・子育て支援の充実を図り、少子高齢化と人口減少にできる限りの歯止めをかけます。

取組の具体例： 出会いコンシェルジュ*、電子母子手帳、出生届のオンライン化、オンライン医療相談、保育所ICT*、教育DX など

Ⅰ. 市民DX ② 窓口改革

行政サービスの利便性・迅速性を向上させ、「行かない・書かない・待たない窓口」の実現を目指します。

取組の具体例： オンライン申請の拡大、窓口DX、マイナンバーカードの取得支援・利用の推進、キャッシュレス決済 など

取組内容

Ⅰ. 市民DX ③ 市民とのコミュニケーションの全体最適化

旭市からの情報を最適な手段で発信し、幅広い市民の声が市政に届く仕組みを構築することで、市民との理想的なコミュニケーションを実現します。

取組の具体例： SNS*を活用した情報発信、通知のデジタル化、デジタル技術を活用した広聴活動 など

Ⅰ. 市民DX ④ 安全・安心・魅力的なまちづくり

デジタルデバイス*を考慮しつつ、全ての市民にとって暮らしやすいまちづくりを進めます。

取組の具体例： スマホ教室、福祉DX*、地域公共交通の全体最適化(交通DX)、防災DX、マイナ救急* など

取組内容

2. 産業DX ① 農水産業・海業の維持・発展

県内でもトップクラスの基幹産業である農業、水産業、海業が今後も発展を続けられるように、経営の最適化を支援します。

取組の具体例： スマート農業*、スマート水産業*、海業の推進、新規就農者への支援 など

2. 産業DX ② 観光・シティプロモーションの推進

旭市の魅力向上と情報発信に積極的に取り組むことで、旭市のブランド力を高め、地域の活性化を促進します。

取組の具体例： 観光DX、デジタルマーケティング*、ふるさと納税 など

取組内容

2. 産業DX ③ 産業創出や企業誘致による雇用の拡大・確保

魅力ある新しい産業や雇用を市内に生み出し、地域経済の底上げや若年層の定着を図ります。

取組の具体例： 事業者のデジタル化支援、地域女性デジタル人材育成、企業誘致など

取組内容

3. 行政DX ① DX人財の活用・育成

行政DXだけでなく、市民DXや産業DXの実現にあたっての**最重要項目**として、旭市のDXを推進・牽引できる人財の活用と育成に取り組めます。

取組の具体例： DX推進アドバイザー、DXエバンジェリスト・DXチェンジプラクティショナー、意識と働き方の改革、EBPM* など

3. 行政DX ② デジタルツールの活用による業務最適化

限られたマンパワーでも複雑化し続ける業務に対応できるようにするため、徹底的なBPRを前提とした業務の最適化を推進します。

取組の具体例： AI、AI-OCR*・RPA*、ペーパーレス化、オープンデータ*、ビジネスチャット、アナログ規制の点検・見直し* など

取組内容

3. 行政DX ③ 持続可能な情報システムの整備・運用

社会環境の変化にも柔軟に対応でき、安定的な運用が可能な情報システムを構築し、旭市のDX推進の基盤とします。

取組の具体例： 地方公共団体情報システムの標準化、共通化、セキュリティ対策、
テレワーク* など

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【1. 市民DX】 ①子ども・子育て支援の全体最適化					
出会いコンシェルジュ事業の最適化					
電子母子手帳の導入の検討					
出生届のオンライン化の検討					
オンライン医療相談の最適化					
保育所ICTの導入・利活用					
教育DXの推進					

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【1. 市民DX】 ②窓口改革					
オンライン申請の拡大	→	→	→	→	→
窓口DXの推進	→	→	→	→	→
マイナンバーカードの取得支援・利用の推進	→	→	→	→	→
キャッシュレス決済の拡大	→	→	→	→	→

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【1. 市民DX】 ③市民とのコミュニケーションの全体最適化					
SNSを活用した情報発信の最適化					
通知のデジタル化の推進					
デジタル技術を活用した広聴活動の推進					

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【1.市民DX】 ④安全・安心・魅力的なまちづくり					
スマホ教室の最適化					
福祉DXの推進の検討					
地域公共交通の全体最適化(交通DX)の推進					
防災DXの推進の検討					
マイナ救急の推進					

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【2. 産業DX】 ①農水産業・海業の維持・発展					
スマート農業の推進	→				
スマート水産業の推進の検討		→			
海業の推進	→				
新規就農者への支援	→				

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【2.産業DX】 ②観光・シティプロモーションの推進					
観光DXの推進の検討		→			
デジタルマーケティングの推進	→				
ふるさと納税の推進	→				

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【2. 産業DX】 ③産業創出や企業誘致による雇用の拡大・確保					
事業者のデジタル化支援					
地域女性デジタル人材育成					
企業誘致の推進					

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【3. 行政DX】 ①DX人財の活用・育成					
DX推進アドバイザーの登用	→				
DXエバンジェリスト・DXチェンジプラクティショナーの育成	→				
意識と働き方の改革の推進	→				
EBPMの推進	→				

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【3. 行政DX】 ②デジタルツールの活用による業務最適化					
AIの利活用の拡大	→				
AI-OCR・RPAの活用の検討	→				
ペーパーレス化の推進	→				
オープンデータの推進	→				
ビジネスチャットの導入の検討	→				
アナログ規制の点検・見直し	→				

工程表

取組事項	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11~ (2029~)
【3. 行政DX】 ③持続可能な情報システムの整備・運用					
地方公共団体情報システムの標準化への対応	→				
共通化への対応	→				
セキュリティ対策の強化	→				
テレワークの推進	→				

用語解説

用語	意味・解説
A I - O C R	人口知能技術(A I)を活用した光学文字認識(O C R)システムで、PDFや画像の書かれている文字列を、デジタルなテキストデータに変換する技術のこと。これにより、業務の効率化やデータ入力の自動化が可能になる。
B P R (Business Process Re-engineering)	プロセスの観点から業務のあり方について抜本的な見直しを行い、再構築を図る取組のことで、「業務改革」とも訳される。
E B P M (Evidence-Based Policy Making)	「証拠に基づく政策立案」の略で、政策を経験や勘に頼るのではなく、データや客観的な事実に基づいて立案・実行・評価する手法のこと。
I C T (Information and Communication Technology)	情報と通信を組み合わせた技術の総称のこと。人やモノの情報伝達や共有を円滑にする技術であり、リモートワーク・オンライン会議・SNS・スマート農業・電子カルテなど、幅広い分野で活用されている。
R P A (Robotic Process Automation)	人が行う定型的な作業を、人が実行するのと同じ形で自動化するシステムのこと。これにより、効率向上やエラー削減が可能となり、業務効率が大幅に改善する。

用語解説

用語	意味・解説
SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)	「誰一人取り残さない(leave no one behind)」、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されている。
SNS (Social Networking Service)	インターネット上で他者とつながり、情報共有や交流ができるサービスのこと。X(旧Twitter)やFacebook、Instagramなどがある。
アナログ規制の点検・見直し	デジタル技術の進化に伴い、法令や条例で義務付けられている「目視・書面・対面・常駐・押印」などの紙や人を前提とした規制を廃止・緩和し、デジタル技術へ転換する取組のこと。
ウェルビーイング (Well-Being)	心身の健康に加え、感情として幸せを感じたり、社会的に良好な状態を維持していること。世界保健機関(WHO)憲章では、ウェルビーイングを「健康とは、単に疾病がない状態ということではなく、肉体的、精神的、そして社会的に、完全に満たされた状態にある」という趣旨で用いている。
海業	海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用し、国内外からの多様なニーズに応えることで水産物消費の拡大や地域の賑わい・所得・雇用の創出を目指す事業のこと。

用語解説

用語	意味・解説
エバンジェリスト (Evangelist)	元々は基督教の「伝道師」を意味し、ITの分野では「ITに関する知識を人々に分かりやすく伝え、啓蒙する役割の人」を指す。旭市では、DXに関する知識を広め、DXを推進する人材を「DXエバンジェリスト」として育成し、DXの意識啓発や取組の推進を図っている。
オープンデータ (Open Data)	誰でも自由にアクセスでき、複製や加工・再配布などの二次利用も可能な公開されたデータのこと。自治体が所有するデータを公開することで、官民協働による地域課題の解決や地域経済の活性化につながる。
(全体)最適化 ((Total) Optimization)	最適化とは、ある状況や条件の中で、目的を達成するために最も効率的・効果的な方法を追求するプロセスのこと。また、全体最適化とは、全体を見る視点から個々の方法を選んで効率的・効果的に連携させることにより、全体の利益や価値が最大化された状態にすること。
シティプロモーション (City Promotion)	地域の魅力や価値をブランド化して発信し、地域の認知度やイメージを向上させる活動のこと。観光客の誘致や移住・定住の促進、企業誘致、住民の地域に対する愛着・誇りの醸成など、様々な角度からの地域活性化を狙いとしている。
スマート農業・水産業	ロボット技術やICT、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)などの先端技術を活用し、省力化や生産物の品質・生産量の向上などを可能にする新しい農業・水産業のこと。

用語解説

用語	意味・解説
チェンジプラクティショナー (Change Practitioner)	直訳すると「変革の実践者」であり、組織において様々な変革を行う際の進行管理を担う役割の人を指す。旭市では、実際の業務の中でDXに取り組み、変革を実践・牽引する人財を「DXチェンジプラクティショナー」として育成し、DXの更なる推進を図っている。
出会いコンシェルジュ	「旭市後継者対策協議会」の通称であり、結婚願望はあるが出会いの機会が少ない独身者を対象に、各種パーティやイベント、セミナー等の事業を行っている。結婚の増加により、市の人口減少対策の推進や定住化の促進を図っている。
デジタルデバイド (Digital Divide)	デジタル技術を利用できる人と利用できない人との間に生まれる格差のことで、「情報格差」とも訳される。DXの推進にあたっては、全ての人が分け隔てなくDXの恩恵を受けられるように配慮する必要がある。
デジタルマーケティング (Digital Marketing)	Webサイト・SNS・デジタル広告・GIS(地理情報システム)などのIT技術を活用し、データに基づいて地域の情報を効果的に発信・分析する活動のこと。
テレワーク (Telework)	ICTを活用し、職員が自宅やサテライトオフィスなど庁舎外で業務を行う働き方のこと。感染症や災害時の業務継続、ペーパーレス化による業務効率化、職員のワークライフバランス向上などを目的に導入が進められている。

用語解説

用語	意味・解説
福祉DX	保健・医療、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉等の分野において、ロボットやAI(人工知能)、ICTなどのデジタル技術を取り入れ、サービスの迅速化・効率化や質の向上を実現する取組のこと。
マイナ救急	救急隊が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録しているマイナンバーカード)を活用し、受診歴や処方薬などの医療情報を瞬時に把握することで、より迅速・的確な救急活動を行うための仕組みのこと。
ローカルハブ (Local Hub)	地域社会において市民や事業者などの様々な主体をつなぎ、連携を促すための中心的な役割(ハブ)のこと。